

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 12 月 27 日 (2007.12.27)

【公表番号】特表 2003-513348 (P2003-513348A)

【公表日】平成 15 年 4 月 8 日 (2003.4.8)

【出願番号】特願 2001-533482 (P2001-533482)

【国際特許分類】

**G 0 5 B 19/05 (2006.01)**

【F I】

G 0 5 B 19/05 A

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 11 月 7 日 (2007.11.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 運動データを通信するための装置において、

1 組の運動制御オペレーションと、

少なくとも 1 つの運動制御オペレーションを行うことができるターゲット装置と、

1 組のメタコマンドであって、少なくとも 1 つのメタコマンドが少なくとも 1 つの運動制御オペレーションと協働するようになっているメタコマンドと、

少なくとも 1 つのメタコマンドを含む運動スクリプトと、

ホストコンピュータと、

前記ホストコンピュータと前記ターゲット装置とが通信するデータリンクと、

1 組の運動データであって、前記運動スクリプトにおける少なくとも 1 つのメタコマンドを翻訳することによって生成され、前記ターゲット装置によって実行することができるようになった前記 1 組の運動データと、

前記ターゲット装置が少なくとも 1 つの運動データを実行することができるようにして少なくとも 1 つの運動制御オペレーションを行うソフトウェアシステムとを備えたことを特徴とする装置。

【請求項 2】 前記少なくとも 1 つのメタコマンドが前記ホストコンピュータにおいて翻訳されることを特徴とする請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】 前記少なくとも 1 つのメタコマンドが前記ターゲット装置において翻訳されることを特徴とする請求項 1 に記載の装置。

【請求項 4】 前記データリンクがネットワークであることを特徴とする請求項 1 に記載の装置。

【請求項 5】 前記データリンクがワイヤレスネットワークであることを特徴とする請求項 1 に記載の装置。

【請求項 6】 前記前記ホストコンピュータが前記ターゲット装置の部分であることを特徴とする請求項 1 に記載の装置。

【請求項 7】 少なくとも 1 つの運動制御オペレーションがデータを前記ターゲット装置から読み出されるのを可能にしていることを特徴とする請求項 1 に記載の装置。

【請求項 8】 少なくとも 1 つの運動制御オペレーションがデータを前記ターゲット装置に書かれるのを可能にしていることを特徴とする請求項 1 に記載の装置。

【請求項 9】 少なくとも 1 つの運動制御オペレーションが前記ターゲット装置に対象物を動かせることができるようになっていることを特徴とする請求項 1 に記載の装置。

【請求項 10】 少なくとも 1 つの運動スクリプトが前記ターゲット装置に流されることを特徴とする請求項 1 に記載の装置。

【請求項 11】 さらに、1 組の運動フレームを備えており、各運動フレームが少なくとも 1 つのメタコマンドを含んでおり、かつ前記運動スクリプトが少なくとも 1 つの運動フレームを含んでいることを特徴とする請求項 1 に記載の装置。

【請求項 12】 前記ターゲット装置が前記の所定の運動フレームを受けとった後所定の運動フレーム内で運動コマンドを実行することを特徴とする請求項 1 に記載の装置。